

# おやつのかん3 -ちょっとひとやすみ-

—親子で通うって?—

NO. 20



お休みの日に仕事で“あんず”に来ることもあります。暖房の音がBGMになるほど静かなもんです。次の朝10時にあんずは開店!! その瞬間から午後2時までは“こだま”が鳴りやまない毎日です。多少のことがあっても、すべて元気に変わっていくようなHOMEだなと思います。また、3時過ぎからは、今度は地鳴りがするような元気がやってきます。あんずは一日中パワフルです。

そんな中、就学前のあんずは、親子で利用していただいています。子ども単独で利用できる事業所のほうが多いですが、「親子で」の意味を、整理してみようと思います。春も近いですからね。

“こんなことが、積み重なればいいな”というのが、親子通園で利用していただいている思いです。

## \* 「なぜ?」の思いを一緒に紐解いていくために

「何でことばが出ないのかな?」「何でできるようにならないのかな?」の思いは、「だいたい自分はいつ話せるようになったのかな?」「どうして箸が持てるようになったのかな?」といった摩訶不思議なこととの向き合いでもあります。そして理由よりも“今、何を?”が、今日を明日に繋いでいく。精一杯生きている子どもの姿を目の前にしながら、関わりの手立てを、あまり難しく考えずに、その場で一緒に考え取り組んでいく時間なのかなと思います。そして…

## \* 「こうすればいいんだ」と、その子の子育て職人に

まずは、あんずにいる時間からやってみて、できることをできる範囲でお家に持ち帰って。がんばらずにコツコツ続けてみて、ひとつ手応えをつかめると、いつの間にか、先輩になっています。

## \* 「例えば半日、家で過ごす時、「それならばこうしよう」とメニューがいくつも浮かぶように」

子どもは遊びが仕事です。まずは仕事を持つことが大切。その仕事のお膳立ては、大人の仕事ですね。我が子の遊びの小さな変化成長を知っていると、ちょっとした手立てで遊びが充実します。フリータイムが苦手な子が多いですから。あんずはその実践の場になると思います。

## \* 「誰かに我が子のことを話すときに、ご家族が自分の言葉で伝えられるように」

子どもの行動にはすべて理由があります。子どもからのメッセージです。伝えたい気持ちに答えながら、できるだけスマートに表現できるように促し育てながら、行動の意味と必要な関わりを、言葉に変えていく場があんずです。専門的な四文字熟語(問題行動・感覚過敏 etc)でくくらずに。何故って、その子自身の姿が見えなくなってしまう。一人ひとり違いますから。世界に一人しかいない我が子を、初めて出会う人に上手くプレゼンできるようになりたいですね。

## \* 「必要な情報を必要なだけ得られる場所として」

いいことも、困ったことも、気兼ねなく話せて聞ける仲間がいる。“一人じゃない”って繋がってれば、ちょっとしたことは怖くない。顔が見えていれば、その空気は自然と出来上がります。

もっともっとあるのに…書ききれませんでした。卒業した先輩方、ぜひ聞かせてください!

親子で通った軌跡が、今どんな力になっているのか。PRIDEになっているのか。

でも、通うことに時間と手間を割いていただいているのも事実です。

“いいかげん”を、いつも考えています。(H30. 1) K

